

寺報

No.661

令和4年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

都て凡夫の菩提心は多く、悪縁にたばらかされ、事にふれて移りやすき物也。鎧を著たる兵者は多けれども、戦に恐れをなさざるは少なきが如し。

『松野殿御返事』



(解説)

我々は自分が困難な事に出会ったり、また身内や友人などが去くなった時などは「さあ、これから先祖の為、仏様の為、また自分の為に一生懸命信仰するぞ。」と志します。

しかし、他人から「そんなに拝んで何かいい事あるの。」と言われたり、また自分に不都合な事が起きたりすると、いつの間にか信心がおろそかになってしまいう事があると思います。

日蓮大聖人は「これはちようどヨロイを着けいかに強そうな武士は多くても、その中で戦争を恐れないで戦う者が少ないのと同じようなものである。」と戒められ、いかに途中で退転しないでまことの道に入る人が少ない事かと嘆いておられます。

今月は『お彼岸』の月です。

どうか皆様も初心に返って、先祖代々からつながる『命』の大切さを継続し、法華経、お題目を唱えていきましよう。

実行あるのみです。

『秋彼岸会』のお知らせ

九月二十三日(金) 中日

場所：小本堂

*法 要

午前八時より午前九時まで

*法 話

約十分間

お経・・・訓読	法	話
二十三日 如来神力品第二十一	住職	上人

⑨『秋彼岸会』の法要は中日のみ一日ですが、ご先祖様と仏様のご供養は、残り六日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。

お題目の功德

秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈 (僧侶が唱えます)
- 一、勧請 (導師が唱えます)
- 一、開経偈 (無上甚深)
- 一、お経 (如来神力品第二十一・日本語読み)
- 一、運想 (唱え奉る妙法は)
- 一、お題目 (南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈 (此経難持)
- 一、回向 (導師が唱えます)
- 一、お題目 (南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、お経 (如来寿量品第十六・漢字読み)
- 一、お題目 (南無妙法蓮華經)
- 一、付回向 (導師が唱えます)
- 一、四誓 (衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱

【法 話・・・約十分間】

⑩お経は如来神力品の訓読 (日本語読み) と如来寿量品【自我偈】の真読 (漢字読み) です。お経本をご用意して下さい。

お寺からのお知らせ

*先祖供養 (一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込み込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳 (一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしていますお骨の前に一週間上がりします。なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けしますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

いのち、不思議

彼岸という言葉は、インドの『パーラミター』の訳である「到彼岸」の略称で、悟りの世界を示します。つまり、此の現在の岸より彼岸の浄土の世界を目指す事を意味します。不思議な事に、お彼岸は仏教発祥の地であるインドや中国ではみられず、日本独特の行事となっています。起源は古く、聖徳太子の頃からの行事で、春分と秋分の当日をはさんだ前後一週間を、仏道修行をする日と定めたのだそうです。その習慣がやがて民間にも取り入れられ、今日まで続けられて来ているのです。国の定めた祝祭日の要項をみますと、秋分の日とは「先祖を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」と書かれています。皆様はこの通り実行しているでしょうか。彼岸中でも日曜祭日になれば、唯遊びに行く事ばかり考えている人が多いのが現状ではないでしょうか。お彼岸は先祖のご供養をするだけではなく、自分の為の修行期間です。どうか皆様も、朝八時のお勤めで早いでしようが、彼岸の中日の日には、お寺に足を運び一緒に法華経・お題目の修行をしていこうではありませんか。

さい じょう いな り たい さい 最上稲荷大祭

九月二十二日(木)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という名は字の如く稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・開運の神様となったのです。



- * 祈 願 . . . 八百円
- * 御 法 楽 . . . 八百円
- * 御 神 体 御 法 楽 . 千円

◎「ご祈願・御法楽」をお申込みの方に『お札』^{ふだ}を差し上げます。
◎御神酒・お供物を受付けます。

『番神信仰』

当山の稲荷堂には、いわゆる『最上稲荷』様といわれる法華経守護の『最上位経王大菩薩(さいじょういぎょうおう・だいぼさつ)』様と、一ヶ月三十日の間、毎日交代で国家と国民を守護します『三十番神』様とが祀りされています。

その中の二十二日目、京都伏見の『稲荷大明神』のご当番に当たる処から、当山では二十二日の日を『最上様の日』として御法楽しています。同じく、皆様の家の過去帳の二十二日にも、その日の守護の善神として『山城・稲荷大明神』が祀りされています。

日蓮宗では鎌倉時代の後期頃から、鬼子母神信仰と共に、特に京都で番神信仰が広まってきました。

それは大本山・妙顕寺の開基・日像上人が、当時、神祇信仰の盛んな京都で、三十番神を法華経守護の善神として取り入れる事により、お題目の布教を人々に弘めやすくしたものと考えられています。

これは日蓮大聖人が、「日本国のあらゆる神々も、お題目のお力により、皆法華経の行者の守護をお誓いする」とお説きになられたからなのです。

檀信徒研修会のお知らせ

☆九月二十九日(木)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

* 『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間：午後七時より

場 所：小本堂【イス席です】

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

* 月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

* ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

◎今月は『秋彼岸会』の為に、土曜日には出来ませんので、ご了承下さい。

九月の行事

- 一 日(木) 『盛運祈願会』 午後一時より
 - ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
 - ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
 - ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
 - ・ 檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



八 日(木) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

十三日(火) 『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。

二十二日(木) 『最上稲荷大祭』 午後一時より

二十三日(金) 『秋彼岸会』 午前八時より

⑨ 『秋彼岸会』の法要は、中日のみです。

二十九日(木) 檀信徒研修会『唱題行』 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』

二十日(火)～二十六日(月)迄一週間

⑩ 『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半迄】夕【午後三時～五時迄】ですので、お手伝い出来ませ方は時間迄にご集合下さい。お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出下さい。

二十二日(木) 『最上稲荷様大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より
教宣部女性 昼 十二時より

*テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

⑪ 各部員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稲荷様大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。

◎教宣部長・杉淵昌三 ◎奉仕部長・山田兼補

『永代供養塔』のご供養

境内に安置してあります『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(秋彼岸供養)は、**九月二十二日(金) 午前十時半**より、まず大本堂にて読み上げとご供養をし、その後境内にて再度ご供養致しますので、ご一緒に参拝出来る方は時間までお越し下さい。時間は三十分程です。

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。
☎776-5840

『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の【家内安全】をご祈願致します。その他、御寶前のお花・聖徒タイムズ(新聞)・寺報等の援助などに活用しています。
会費・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『位牌壇』の募集!

- ◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。
- ◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』に追膳、またお経も唱えさせて戴きます。
- ◎青森では冬期間お墓参りが出来ませんが、『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。
- ◎最近の仕事の関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方も増えています。
- ◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、三年以上使用の方に上位で空いています『位牌壇』を無料でお譲りしています。ですから三席から特席にも上がれます。

提灯の募集

「御会式・お正月・鬼子母神大祭」に下げます『提灯』(トロー)を募集しています。
作成価格は八千円、年間管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

あき ひ がん え 秋 彼 岸 会

九月二十三日(金) 中日

於：小本堂

法 要 午前八時～九時まで

* 『法要』は彼岸の中日のみですので、檀信徒の皆様も
ご注意の上、ご参拝下さい。

残りのご供養は「朝のお勤め」で読み上げします。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各靈位 800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂 . . 3,500円

***法要に参拝し、お経・お題目を唱えましょう！**